

どちらにせよ 戻りたくなる

平安時代（一生分の情報）

特徴: 自然、対面会話、手紙（和歌）が情報の中心。

情報源: 四季の移ろい、鳥の声、人から聞く噂話など、五感で感じる情報が多い。

イメージ: ぼーっと自然を眺める時間も情報の一部。

江戸時代（1年分の情報）

特徴: 書物、瓦版、寺子屋の普及で文字情報が増加。

情報源: 旅の記録、物語本、町中の噂。

イメージ: 1年かけて得ていた知識を、現代人は1日で処理している。

令和時代（1日の情報）

特徴: インターネット、SNS、スマホによる「情報洪水」。

情報源: 24時間止まらないニュース、広告、メール、動画、SNSの通知。

イメージ: 情報を「知る」だけでなく「処理（選別・思考）」しないとバンクする。

なぜここまで増えたのか？総務省のデータでは、
インターネットの通信量は2000年からの約20年で約6500倍に増加しているという

☆タイムスリップ可能としたら★

*平安・江戸時代 ⇒ 現代

到着した途端に何が何だか分からず、ついていけないので すぐに戻りたくなる

*現代 ⇒ 平安・江戸時代

最初は物珍しく見えるが 時間を持てあましすぎて戻りたくなる